

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
市民の森十一面山保全の会

Page 4-13

かけはし一般質問
9月定例会議

Page 13-15

審議案件と結果
8月随時会議
9月定例会議

Page 15

決算特別委員会開催
総務委員会所管事務調査
県北3市へ災害見舞金の贈呈

Page 16

常総橋百景
「第十二景 長峰橋」

No.244

発行月：2023年11月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





かけはし インタビュー

市議会
×



市民の森十一面山保全の会

市議会(以下、議会)

活動のきっかけ、歴史についてお聞かせください。

吉原会長(以下会長)

十一面山は日本に3ヶ所(鬼怒川、利根川、木曾川)しかない河畔の砂丘で地質学的に非常に貴重な場所であり、1460種類の生物が生息する素晴らしい場所です。時の流れと共に、山が削られ、手入れがされなくなり、ごみ捨て場のような場所になってしまいい、「昔の姿を取り戻したい」「この素晴らしい自然を守りたい」との思いで活動を始めました。

最初は、本当にごみの山であったこともあり、地元有志、ボランティアの方々、行政の力を借り、総勢600名でダンンプ150台以上のごみを運び出しました。その後、茨城県の補助事業を受け、420名の方の参加で、桜、クヌギ、コナラ、栗等、5000本の植樹をしました。この活動によって「全国植樹祭」や「育樹祭」で表彰され、県の実績発表会でも「最優秀賞」、日本さくらの会から「功労賞」をいただきました。組織としては、20年の歴史があり、名称が「十一面山の自然を守り育む会」から「十一面山平地林保全整備促進協議会」と変わり、現在「市民の森十一面山保全の会」として25名の会員で活動しています。

議会

活動内容について教えてください。

会長

月1回（第2日曜日）に植樹伐採や除草等、十一面山の整備を中心に活動しています。その他、毎年「自然探検隊」として、体験型のイベントを開催しています。子どもたちに自然の素晴らしさを体験して知ってもらおう機会として、大変喜んでもらっています。

議会

十一面山の見どころやポイントはどんなところですか。

会長

活動開始から20年かけて桜の植樹を行い、昨年、20年という節目に千本桜（19種類）を達成しました。近い将来、常総市の桜の名所として、注目されることを楽しみにしています。

また、今後はベンチや東屋の設置も考えています。たくさん家族や子どもたちにこの



場所に来てもらいたいです。自然の良さを知ることはいろいろな意味で成長の役に立つのではないかと思います。是非、鬼怒川の風を感じて、里山の景色を楽しんでもらいたいと思っています。

議会

今後の十一面山の維持や取り組みを継続していくために必要なことはどんなことですか。

会長

1つは、もっとたくさんの方に知ってもらうために、適切な利用・情報の発信をしておくことが必要だと思っています。もう1つ

は、山の整備を維持していくことです。現在、60代後半から70代の会員で活動していますが、活動を継続していくためには、活動に参加いただける新たな方々を増やしていくことが大事だと思います。

今後また皆さんの皆さまに十一面山に来ていただき、楽しんでいただけるように、常総市の素晴らしい自然を次の世代に繋いでいけるようにしていきたいと思っています。ご協力していただける方は、いつでも歓迎いたしますので、是非ご参加ください。

（令和5年8月インタビュー）



聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員

下妻広域のクリンポート・きぬ、常総広域の常総環境センターそれぞれの施設について伺う。

保健衛生部長

水海道地区は常総環境センターで可燃ごみの回収を行い、回転ドラムを使用するキルン式ガス化溶解方式の焼却施設で焼却している。石下地区は下妻クリンポートセンターで可燃ごみの回収を行い、火格子を階段状に並べたストーカ式の焼却施設で焼却している。

議員

ごみの課題について伺う。

保健衛生部長

広域が異なることによる課題は、ごみ袋の調達の違い、資源物の分別方法の違い、粗大ごみの回収方法の違いがある。それぞれの広域の課題は、常総広域では、焼却炉の1つが破損して運転ができない状態にあること。下妻広域では、焼却残渣を処分する最終処分場の容量がいっぱいになり広げる必要があることである。

議員

ごみの削減についての当市の取



柴典明 議員

質問

広域ごみ問題について

答弁

一元化に向けた、ごみ処理のニーズにこたえる広域を作っていききたい

柴議員の質問動画



り組みについて伺う。

生活環境課長

当市の取り組みとして、1点目はリユースの推進、2点目はペットボトルの水平リサイクル活動、3点目は生ごみを削減するため、使いキリ、食ベキリ、水キリの3キリ運動の推進である。

議員

ごみ処理の方向性について伺う。

生活環境課長

広域事務組合の一元化の可能性について検討しているが結論には至っていない。茨城県広域化計画では将来的な広域ブロックが示されており、様々な角度から意見交換を重ね、慎重に検討していく。

議員

広域問題に対する覚悟を市民の皆さんに市長からお伝え願う。

市長

今後管理者会、事務方と一体になり、一元化に向けた、市民の皆さんのごみ処理ニーズにしっかりと応えられるような広域行政を作っていきたいと考えている。



石塚 剛 議員

質問
防災体制の現状と今後について

答弁
防災に強いまちづくりに取り組んでいきたい

石塚議員の質問動画



議員

避難行動要支援者避難計画の整備状況について伺う。

市長公室長

名簿掲載者2730名のうち作成希望者631名、作成済者が351名、作成率約55・6%となっている。

議員

当市の災害情報ツールの活用状況について伺う。

市長公室長

戸別受信機97台、防災ラジオ付戸別受信機4148台を配布しており、LINE登録者は1万6914件となっている。

議員

エリア限定で防災ラジオに火災情報が発信可能か伺う。

防災危機管理課長

常備消防からメールやテレフォンスービスで情報提供されている。火災情報発信は、システム使用上の問題で発信が出来ていない。火災情報について現状のツールの活用を案内していく。

議員

システムの目途がつけば導入を

進めてほしい。

音声コード「ユニボイス」とハザードマップ連携について伺う。

防災危機管理課長

ハザードマップとの連携は魅力だと思ふ。検討していきたい。

議員

避難所の熱中症対策で、大型エアコン導入について伺う。

市長公室長

水海道総合体育館、石下総合体育館は、空調設備が導入されている。小中学校の体育館は、公共施設の総合管理計画を踏まえ検討していきたい。

議員

防災先進都市に向けた今後について当市の考えを伺う。

市長公室長

デジタル化、官民学連携、地域リーダーの育成等の防災対策基盤を整備し、防災に強いまちづくりに取り組んでいきたい。

議員

誰もが認める防災先進都市となるよう期待する。

【他の質問】

★带状疱疹ワクチン推進について



吉原 晴照 議員

質問
常総市の防災の取り組みについて

答弁
関係機関や地域の防災支援組織と連携して訓練を年間計画に基づき実施している

吉原議員の質問動画



議員

防災訓練の計画について、具体的にを行った経緯と今年度の計画を伺う。

市長公室長

平成28年からの計画では、主に自助、共助、公助の観点から、それぞれの役割に応じた訓練を行ってきた。今年度も、関係機関や地域の防災支援組織と連携して多岐にわたる訓練を年間計画に基づいて実施している。

議員

自主防災組織の現状と、組織を今後結成する為に必要な対応策を伺う。

市長公室長

自主防災組織の現状について、市内217の自治区中148地区が結成済みとなっている。

防災危機管理課長

自主防災組織が結成されていない地区には、自治区長、民生委員等に、組織結成に向けた検討会や勉強会、推進活動を開催し、小学校区単位の組織結成を目指している。

議員

自主防災組織が結成されていない地区には、自治区長、民生委員等に、組織結成に向けた検討会や勉強会、推進活動を開催し、小学校区単位の組織結成を目指している。

議員

自主防災組織が結成されていない地区には、自治区長、民生委員等に、組織結成に向けた検討会や勉強会、推進活動を開催し、小学校区単位の組織結成を目指している。

い地域に対しては、小学校区単位の組織ではなく、自治区単位を基本として結成すべきと考える。隣の自治区と統合ができるなら進めて貰いたい。自主防災組織を作ることで、災害時の自助、共助、公助につながるので、早急な自治区結成に向けた今後の方針を伺う。

防災危機管理課長

各地区の地域性や状況を考慮して、各地区の実情に合った自主防災組織結成を目指す考えである。

議員

豪雨や線状降水帯により、新八間堀川が満杯になったとき鬼怒川に排水ができなくなると想定され、当市の中心市街地は地盤が川よりも低い。対策として、上流が違う小貝川への排水が必要と思うが、水海道排水機場のポンプが故障しているため、ポンプの修理が必要なので検討すべきと提案する。

道路課長

排水機場は、江連八間土地改良区の所有である。機場の再稼働の要望等について、今後、市の内水氾濫対策会議にて検討していく。

氾濫対策会議にて検討していく。



草間 典夫 議員

質問

公園施設長寿命化計画に基づく公園の維持管理や更新の対策は

答弁

ライフサイクルコスト等を検討し、今後10年間で施設や遊具の更新を実施する

草間議員の質問動画



議員

公園は、どのような目的で設置しているのか伺う。

地域拠点整備課長

良好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上、生物多様性の確保、豊かな地域づくりに資する交流空間の情報の提供等を目的としている。

議員

公園を維持管理していく上での課題について伺う。

地域拠点整備課長

施設の老朽化と安全で快適な利用環境を提供するための維持管理体制の確立が課題となっている。また、公園へのニーズが多様化しており、既存の施設の更なる魅力向上が必要である。

議員

公園施設長寿命化計画の概要等について伺う。また、どういう施設条件がこの対象となるのか伺う。

地域拠点整備課長

当市では、安全対策の強化及び耐用年数の延伸、更新にかかるコストや維持管理費の縮減と平準化を図ることを目的とした長寿命化

計画を令和4年度に策定した。

更新の支援事業については、原則2ヘクタール以上の公園に立地する施設が対象となるが、遊具については2ヘクタール未満の公園でも対象である。

議員

実際に該当する箇所はどれくらいあるのか、今後の長寿命化計画の取り組み予定を確認する。また、公園の維持管理体制や利用促進に向けた魅力向上の工夫等について市の考えを伺う。

地域拠点整備課長

調査で老朽化や破損の著しい判定結果が出た施設を中心に256施設を今後10年間で更新する。公園の維持管理については、現場管理体制を見直し、安全で快適な公園環境を提供していく。また、市民協働による公園管理体制を構築し、利用者目線でのきめ細やかな活動による魅力の向上を図る。

議員

子どもから高齢者、障がい者までのだれもが安心して利用できる、快適な公園環境づくりの今後の動向を利用者と共に注視していく。



塚本 治男 議員

質問

つくば下総広域農道（通称アグリロード）の延伸について

答弁

つくば市と具体的な協議をスタートしていきたい

塚本議員の質問動画



議員

アグリロードは、農産物輸送の合理化と農村環境の改善を図る目的で、令和2年度に全線開通した。

アグリロード開通により、沿線の活性化への貢献も期待されているが、小貝川を渡る区間については、国道294号常総バイパスや県道土浦坂東線などの既存の道路を利用し、迂回するルートとされ、東西交通の主要道路の渋滞も発生している。地元の方々からは迂回せずにアグリロードを真っすぐに延ばせないかという話も数多く寄せられている。地元の声を形にするために関係者が一丸となって挑戦することが重要であり、当市としても延伸への支援を期待する。そこで、アグリロードの設置の経緯について伺う。

議員

果、経済効果について、どのように考えているか伺う。

議員

常総市・つくば市間のアクセスの選択肢が増加し利便性は向上、物理的・時間的距離の短縮による社会の生産性を高める効果が生まれると思われる。

議員

延伸を実現するための諸課題をどのように認識しているか伺う。

議員

小貝川、八間堀川の架橋整備に多額の費用を要し、また、架橋する許可も課題となる。

議員

具体的な当市としての行動を含めて市長の意向を伺う。

議員

将来的なことも見据えて、早速つくば市と具体的な協議をスタートしていきたい。

産業振興部長

アグリロードは、8市町の農産物輸送の合理化並びに農村環境の改善を図ることを主な目的に、県営事業として33年の歳月をかけて整備が完了した。

議員

延伸により期待される交通の効

道路課長

当総市・つくば市間のアクセスの選択肢が増加し利便性は向上、物理的・時間的距離の短縮による社会の生産性を高める効果が生まれると思われる。

議員

延伸を実現するための諸課題をどのように認識しているか伺う。

議員

小貝川、八間堀川の架橋整備に多額の費用を要し、また、架橋する許可も課題となる。

議員

具体的な当市としての行動を含めて市長の意向を伺う。

議員

将来的なことも見据えて、早速つくば市と具体的な協議をスタートしていきたい。

議員

当市の更なる発展を促進するためにも、建設の手法を問わずにアグリロード延伸を実現していただき、そのための一步を常総市として踏み出すことを強く要望する。



入江 超史 議員

質問
多文化共生の
取り組み状況について

答弁
これからもしっかりと推進していく

入江議員の
質問動画



議員
今後、外国籍住民の人口の推移及び定住化、全人口中の比率などの傾向はどのようになっていくと考えるか伺う。

市民生活部長

令和5年7月末現在、本市には6195人、47ヶ国の外国人の方々が居住している。本年3月末に初めて外国人人口が6000人に達し、当市の人口に占める割合も10%を超えた。今後も増加していくことを見込んでいます。

議員

多文化共生の意義を市長に伺う。

市長

外国人居住率が茨城県でも断トツであり、初めて6000人を超え、住民の1割以上が外国籍ということになった。外国籍の方々と多文化共生というものをテーマに、これまでにも幾つもの提言をいただいている。また、6000人以上の外国籍の中でも永住者・定住者が7割近くになるという特徴もある。まさに当市はこれからも多文化共生をしっかりと推進していかなければいけない。これまでこう

だったということではなくて、違った考え、外国籍でもいろいろな文化、これをお互い尊重し合い、一緒に共存共栄していく、これが何よりも当市にとって大事なことがある。これからもあらゆる生活の場面で、様々な市民サポートと同様に外国籍の方々にも充実した多文化共生、支援制度を作っていきたいと考えている。

議員

外国籍住民の方々のみならず、外国籍住民の方々に対する不安をお持ちの日本国籍の住民の方々にもしっかりと向き合って、その不安解消に努めていただきたい。



中島 義昭 議員

質問
北海道地区中心市街地の
賑わい再生について

答弁
地域資源を活用し、
まちなか再生を図っていく

中島議員の
質問動画



議員
北海道地区中心市街地の活性化について、市が考える賑わい再生について伺う。

産業振興部長

鬼怒川の水運を活かして発展した北海道の商人文化を象徴する歴史的建造物及び公共空間等の地域資源に新たな文化的価値を付加して、地方創生の新たな拠点である道の駅常総の来訪者をまちなかに回遊する仕組みづくりを進め、市民と来訪者が交流・回遊する憩いの場として、まちなかの再生を図っていく。

議員

今年度実施されている、まちなかの再生事業について伺う。

産業振興部長

ふるさと財団の事業として、外部専門家及びまちなかの再生プロデューサーの協力を活用して、まちなかの資源を使い北海道駅周辺の賑わい創生に向けたビジョンを構築している。また、まちなかの未来を社会実験によって提示し、それらによって得られた意見や結果を基に市民と共有するための発

表会を実施する。

議員

北海道公民館の現状と今後の方針について伺う。

教育部長

昭和48年に建築されて令和4年度は年間3万1364人に利用されている。建築から約50年が経過しているため、老朽化が進み建替えが必要と考えている。移転案については、6月の北海道地区中央区長会の場で提示した市民の広場・第一分庁舎・ふれあい館の3案を候補として、今年度中に移転場所を決めるべく調整を行っている。

議員

候補の案を決定するに当たり、市民の皆さんの意見をどのように集約するのか伺う。

生涯学習課長

主に利用者等のアンケート調査、区長をはじめとした地域の皆様への説明会を実施して、候補の案を決定していく。

議員

市民の皆様から大変要望の多い案件なので、是非とも早く決定するように強く要望する。



柳井 真吾 議員

質問
アグリサイエンスバレー常総の都市公園について

答弁
にぎわいと健康増進を目指した公園となるよう進めていく

柳井議員の質問動画



議員

本年春に、アグリサイエンスバレー常総が本格的なまちびらきとなり、道の駅常総・民間商業施設などが開業し、にぎわいを見せ、良いスタートが切れた様子で安心した。令和7年には都市公園も着工の予定である。都市公園の進捗状況について伺う。

副市長

市民や道の駅等の利用者の皆さんに、このエリアにどのような公園が必要かについてのアンケートを計画している。また、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者からの提案を聞きながら、公民連携による整備についても検討し、市民の皆さんに喜んでいただける公園となるよう努めていく。

議員

市民の声として、以前に私が一般質問で提案したインクルーシブ遊具とドッグランの進捗状況について伺う。

地域拠点整備課長

導入に向けて前向きに検討し、進めてきた。このような中、5月に開業したツタヤでは、屋外広場

内にインクルーシブ遊具が、5種6基設置された。また、グランベ

リー大地では、7月にドッグランが整備され、イチョゴ狩りのシーズンオフ期間でペット同伴の飲食が可能なおスペースも設けられた。

議員

公民連携した取り組みに感謝する。健康寿命延伸のために、市民の皆さんが、公園の外周を気軽に運動できるスペースにしてはどうかと提案するが、当市の考えを伺う。

地域拠点整備課長

本エリアの名称は、「食と農と健康の産業団地アグリサイエンスバレー常総」であるので、公園整備のテーマに健康を取り込むことは当事業の目的にまさしく合致するものであると考える。エリア全体で相乗効果が図られ、にぎわいと健康増進を目指した公園となるよう、前向きに検討を進めたい。

議員

皆さんが笑顔で帰ってもらえるような公園となるようお願いする。

【その他の質問】

★熱中症対策の推進について
★認知症高齢者対策について



中村 安雄 議員

質問
坂手染色団地に隣接するプラスチック再生工場建設について

答弁
事業者に対して法令を遵守するよう指導をしていく

中村議員の質問動画



議員

住宅地区と隣接した工場建設について伺う。

副市長

現時点において、事業者より都市計画法に基づく事前協議申請及び開発行為許可申請は提出されていない。但し、申請書が提出された場合には、都市計画法等における開発許可制度に基づき計画内容を審査していくとともに、事業者に対しては住民の方々の不安について十分な対応を求めていく。

議員

建築物等の用途の制限について伺う。

都市計画課長

坂手工業団地地区計画の区域内にあるため、地区計画に定められている内容と適合する場合には、産業系の施設が立地可能な区域となっている。具体的には流通・運輸、生産施設等を中心に、既に立地する建築物等との調和を図りながら、主として環境の悪化をもたらす恐れのない産業施設等の集積を図るため、準工業地域及び工業地域の用途制限に該当する建築物、

住宅やボーリング場、カラオケボックス等に該当する用途の建築物は建築してはならないと定められている。

議員

プラスチック再生工場建設に伴う環境に対する地域住民の不安について伺う。

保健衛生部長

当市の環境法令では、事業者に対して周辺住民の健康や生活環境を保全するために、必要な措置を講じるよう指導するとともに、設置する予定の施設が届出に該当する場合には事前に届出するよう指導を行っている。

市長

事業者も当市で仕事を末永く行っていたためには、地域に愛される会社でないといけないと思う。地域の皆さんに応援される会社になるよう徹底して指導を行っていく。

議員

地域の皆さんの生活を脅かすことがないように、厳しい面は厳しく、安全な地域を守るために行政指導をお願いする。



岡野 一男 議員

質問
みつかいどう一里塚ロードパーク内の桜の木はなぜ伐採したか

答弁
国道の立体化事業に支障があり、伐採した

岡野議員の質問動画



お知らせ版に掲載した。

議員

みつかいどう一里塚ロードパーク遊歩道の桜の木が伐採されたのはなぜか。

副市長

国道294号と国道354号との交差点の立体化事業に伴い、支障となる桜の木32本を伐採した。

議員

この桜の木は市民の方の寄付で植栽された経緯がある。伐採にあたっては寄付者の方に連絡したのか。

地域拠点整備課長

伐採した桜の木は植樹にご協力いただいた水海道ライオンズクラブからの承諾を得た。市制50周年記念桜植樹事業での寄付により植栽したのは、今回の工事の範囲外であり、連絡はしていない。

議員

事業を行う場合は利害関係者に告知するのではないか。桜の木がなくなっているから、お知らせ版に掲載したのは遅いのではないか。

地域拠点整備課長

桜の木が伐採されてから、複数の方から問い合わせがあったので、

お知らせ版に掲載した。

議員

ロードパークの桜の木は寄付者の方の名前を付けたりして非常に愛着を持った桜の木と記憶している。水海道ライオンズクラブには連絡したが、一般の方には連絡しなかったということは、今回の工事には支障がなかったため、連絡しなかったと理解してよろしいか。この桜の木は植栽からかなり時間は経過しているが、寄付者の方の思いは決して色あせていない。この件で寄付者の方から問い合わせがあったのか。

地域拠点整備課長

ホームページあるいは電話での問い合わせがあった。

議員

市民の方々のお気持ちはぜひ大切にしたい。今後の行政運営を行っている。

【その他の質問】

★プラスチック再生工場について

★監査の調査内容について

★公共施設内の拾得物の管理及び

処理について



中村 博美 議員

質問
きれいなまちづくりについて日本一きれいなまちを目標そう！

答弁
きれいなまちづくり活動を推進していく

中村議員の質問動画



る。従前実施していた9月は熱中症のリスク、農作業の繁忙期や小学校等の運動会に重なるなどのことから、年3回とすることにしている。

議員

移住定住の施策に取り組み、若い子育て世代の人口を増やしたい。本市の取り組みの1つとして、日本一きれいな常総市を目指して取り組んでほしいと思っている。道の駅常総の年間来場者数は、年間150万人から200万人の入場者がある世界文化遺産の姫路城を抜くかもしれず、本市は観光地になったと市長は言われた。観光地になったからには、現在の草やごみが目立つ当市では残念というか悲しい。他市、他県から多くの方が訪れる常総市を取り戻しつつある今、私が茨城県水海道市に移り住んだ昭和49年頃のまちなか活性和はまた違った形に変化しているが、きれいなまちづくりはまちなか活性にも関係すると思われる。当市の風景を変えたい。今きれいな常総市づくりが本当に必要だと思っている。

議員

市内一斉清掃が年4回から3回になった時期と理由について伺う。

保健衛生部長

合併後の平成18年度からは、6月、12月、3月の年3回となっていて

市長

各地区において自主的にボランティアでごみ拾いをしていて、本の方にたくさん話を聞いて、本当に有難い限りだと思ふ。自主的なボランティアの皆さんには、ごみ拾いだけでなく花いっぱい運動もしていただいている。女性団体の皆さんも含めて、たくさんのご活躍をいただき、庁舎、道の駅常総も含め、そのような活動を推進していきたい。

市制50周年記念桜植樹事業での寄付により植栽したのは、今回の工事の範囲外であり、連絡はしていない。



佐藤 剛史 議員

質問 多面的機能支払交付金の活用について

答弁 行政としても交付金活用をサポートしていく

佐藤議員の質問動画



議員

多面的機能支払交付金は、農業従事者等の減少を受けて地域共同で行う多面的機能を支える活動や地域資源、農地、水路、農道等の質的向上を図る活動を支援して行く。交付金を多くの地域で活用していくべきでは。

農政課長

主な活動は農地周りの草刈り、水路の泥さらいが中心だが、生産者だけでなく自治会の方、老人会の方も参加している。ごみ拾いなどの清掃活動、農業施設周りの花の植栽など、景観形成活動なども併せて実施している。

議員

地域の方々が地域を良くするために活動し、そこに対して費用負担がある制度なので広がってほしいと考える。交付金の利点についてどのように考えているか。

産業振興部長

利点は、地域住民が自分の地域は自ら見守るという意識を醸成することにあり。交付金額は面積単位で計算され、10アール当たり、田3000円、畑2000円が基

本となる。交付金の財源は国50%、県25%、市25%で地元負担はない。

議員

申請書類の作成等が難しく利用ができない状況も考えられるが、支援することができれば、さらに制度は利用しやすくなると考える。行政としての支援はできるのか。

農政課長

当市では担当がサポートをしている。実際、活動開始後も、お金の使い方、活動時期、他地区のことについても、随時、支援をしている。

議員

この取り組みは耕作放棄地の把握にもつながり、農地中間管理事業と連携することで耕作放棄地の解消につながると考えるが当市の見解は。

農政課長

ご指摘のとおり、活動組織の方々や農地周辺を維持管理していく中で耕作放棄地が把握できる。耕作されていない農地を早期に確認し、荒れる前に新たな耕作者に農地の提供が可能になる。新たな耕作者のマッチングは農地中間管理機構としっかり連携していきたい。



堀越 道男 議員

質問 準要保護者に対する就学援助金の一部支給外しはいかがなものか

答弁 周りの自治体などの状況も鑑みながら研究する

堀越議員の質問動画



議員

就学援助金は「経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して、市は必要な援助を与えなければならない。」としている。全国基準があつて費目や金額が決まっているが、この全国基準と当市の対比をお聞きしたい。

教育部長

生活保護者に対する就学援助は、国の制度に基づき支給しているが、準要保護者については市町村が単独で実施するものであり、認定基準や支給対象費目に差異がある。当市の準要保護者の認定基準は、生活保護者の収入基準額の1.5倍未満までの所得がある世帯を認定している。生活保護者に対する国の就学援助制度における支給対象費目は、学用品費、通学用品費、宿泊を伴う郊外活動費、宿泊を伴わない郊外活動費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、クラブ活動費、生徒会費、PTA費、通学費、修学旅行費、医療費、学校給食費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費の15費目を対象としている。当市の準要保護者におい

ては、卒業アルバム代とオンライン学習通信費を除外した13費目を支給対象としている。さらに、体育実技用具費やクラブ活動費、生徒会費、PTA費は、種目の選択制や学校ごとに費用が異なるため、実際には支給から除外している。

議員

準要保護者の認定基準を生活保護者の1.5倍未満までというのは評価できるが、除外されている費目の理由について伺う。

学校教育課長

卒業アルバム代は金額の変動があり、オンライン学習通信費は学習目的以外で私的に使うことでもきるので支給対象外である。生徒会費等は、学校ごとに費用が異なり、各家庭の公平性を考慮したうえで支給から外している。

議員

全国基準が決まっているのだから、収入があるとか、公平性を理由にして支給しないのはおかしいと感じる。準要保護者に対しても全費目が支給できるように研究すべきである。

議員

全国基準が決まっているのだから、収入があるとか、公平性を理由にして支給しないのはおかしいと感じる。準要保護者に対しても全費目が支給できるように研究すべきである。



茂田 信三 議員

質問
祝 産婦人科開設

大変長らくお待たせいたしました

茂田議員の質問動画



議員

産婦人科開設の件について、2009年から一般質問で9回、全員協議会で5回質問し、重要性を訴えて来て、ようやく開設にこぎ着けた。遅きに失したかなと思うので、緊急を要することは早急に実行しなければいけない。

保健推進課長

議員の言うとおり、出産・子育てなど重要なことは早急に対応していく。

議員

開設すれば良いというのではなく、市民にどのようにPRしていくのか、出産数増加が重要である。開設以来の受診状況を見ねる。

保健衛生部長

2月の開設から8月までの間で12件の出産があり、妊娠期の途中から寺田医院に変更する方も見られた。議員のお話にもあるように広報活動が重要になってくる。

議員

私は市民の方々と当局へ「産婦人科の創設、安心して出産できるまちへ」というメッセージを送り続けてきた。2、3年で実行すれ



小林 剛 議員

質問

日本は自給率37%を長年続けているお花畑国家。食料自給率向上も国防の一端自給率向上のために、当局において国産小麦栽培を推進していく

小林議員の質問動画



議員

給食用食材の産地と納入業者の選定方法を伺う。

教育部長

野菜は地場産物の納入を優先に選定しており、米は常総市産コシヒカリを指定し、見積合わせにより選定している。

議員

学校給食会とは何か伺う。

教育部長

昭和31年に設立された公益財団法人で、営利を目的とせず安全安心な給食を提供する団体で納入資格指名願いも提出されている。

議員

福岡県では学校給食会との取引を一部民間業者に切り替えて5500万円削減された。保護者の給食費負担が軽減されるのではないかとと思われる。学校給食会に頼る必要はないと思われるが。

給食センター所長

トラブルがあった場合の安定供給の為、当局としては必要と考えている。

議員

給食のパンは、国産小麦か、外

国産小麦かについて伺う。

教育部長

茨城県産小麦20%、外国産小麦80%で配合された小麦を使用している。

議員

小麦等の飼料については、外圧に屈し、家畜に外国産の飼料を与えているから、国が生産を奨励しても自給率が1%も伸びていない。当局は小麦等の生産を奨励し、自給率アップに貢献できないか。

農政課長

国の施策で畑作物の直接支払交付金という支援メニューがある。

議員

常陸大宮市では、給食に有機無農薬米を2027年までに全て切り替える計画である。千葉県いすみ市では有機無農薬米を100%給食に提供している。安全安心な給食に移住者も増加している。

市長

当局には広大な黄金地区がある。一刻も早く有機栽培を給食に取り入れ、自給率向上のためにも、当局の小麦栽培を実践できるよう努力する。



坂野 茂実 議員

質問

国重要文化財 坂野家住宅の現在と今後の活用について

答弁

予算計上を積極的に行い、今後も保存伝承に尽くし、新たな活用法を検討する

坂野議員の質問動画



議員

坂野家住宅は昭和43年に主屋と薬医門が国の重要文化財に指定され、新たに書院と文庫蔵の2件が追加指定を受けることになったが、4件の指定は大変稀と聴いているが、その経緯を問う。

教育部長

坂野家は500年ほど前から大生郷の土豪であり、5代伊左衛門氏が享保年間に飯沼300町歩の新田開発の頭取として活躍した豪農である。1ヘクタールに及ぶ屋敷地にある主屋と表門は豪農の屋敷構えを現代に伝えており、増改築を重ねた発展形態を伺うことができる数少ない貴重な建築物として指定を受けた。

今回追加指定されることになった書院は、大正6年建築で材料、意匠ともに秀でた近代和風建築と評価され、文庫蔵には勝海舟、山岡鉄舟、高橋泥舟等170名の文化人の400点の書画や二宮尊徳が滞在した記録が残っている。

議員

指定後55年になるが、現在水海道風土博物館としてどのように活用

用されているのか問う。

教育部長

屋敷地や内部の一般公開と小学校の校外学習等に活用し、現代物を設置せず豪農の生活様式を体感できるように配慮し、来館者から好評を得ている。近年では、その風景が好評で多くの映画やテレビドラマや結婚式の撮り写しの撮影等にも活用されている。

議員

道の駅常総の利用客を坂野家住宅等の名所跡に呼び込む計画について伺う。

教育部長

現在、観光マップによる周知を行っており、今後はパンフレットやポスター、デジタルサイネージ、デジタル観光・周遊マップによる周知を行う計画である。

議員

坂野家住宅を今後どのように活用していくか。

教育部長

文人墨客が残した貴重な所蔵品の企画展示に加え、撮影会など新たな活用法を検討し、保存活用に努めていく。



大澤 清 議員

質問

中学校の部活動地域移行について

答弁

国からの方針に基づき進めている

大澤議員の質問動画



議員

外部指導者の確保についての進捗状況について伺う。

生涯学習課長

一般的な指導者の方ということでは国は考えているが、適正な指導者をどのように見極めたら良いのかというところであり、外部指導者の確保は現在、これからの課題と認識している。

議員

市内や他市の学校との合同チームの結成状況について伺う。

指導課長

今年度は、軟式野球、サッカー、ハンドボール、バレーボールが合同チームで活動を行っている。チームは全て市内の2校ずつで結成されている。また、合同チームの結成は、近隣市町村との広域にわたるチーム編成についても可能ということになっている。

議員

自分の通う中学校に入りたい部活動がない場合などは、合同チームが有効であると考え。今後の少子化や小中学校適正配置を考えると、種目や競技によっては近隣

市町村での合同チーム編成や、指導者の都合により市をまたいで移行も想定されるので、その場合は子どもたちのニーズに配慮し、広域的な考えを持っていただきたい。当市の今後の部活動地域移行の方向性について伺う。

生涯学習課長

まずは休日の部活動を令和5年度から令和7年度までの3か年を改革推進期間として、国からの方針に基づき進めているところである。

議員

1つ提案するが、異文化交流部という部活動を作ってみるのはいかがか。日本人の生徒はもちろんのこと、ブラジル人をはじめ、外国語や日本語を通じて自己実現の場や、やりがいの場として、学校や地域でも楽しく言語や文化を学ぶ機会も増えると考え。子どもたちのためにしっかりとした文化やスポーツ環境を整うよう、早急に進めていただくようお願いする。

【その他の質問】

- ★家庭ごみについて
- ★市民の健康について



遠藤 章江 議員

質問 宝町駅通り商店街で女子高校生が危険な目にあつたことをご存じですか？

答弁 要望により防犯灯の設置を進めていく

遠藤議員の質問動画



議員 当市全域における防犯灯及び商店街の街路灯の現状を問う。

保健衛生部長 当市では約6500基の防犯灯などを含む街灯を管理している。通学路に設置したものと及び安全安心対策防犯灯の1500基は当市で電気料金の支払いをしている。残りの約5000基は、自治区からの要望により設置したもので、電気料金の支払いは自治区にお願いをしている。当市で設置しているLED防犯灯1基当たりの電気料金は、一月当たり約150円で、令和4年度の防犯灯を含む街灯などの電気料金支払い実績は、約776万円である。

産業振興部長 商店街の街路灯は、商店街が独自に設置したもので、電気料金支払いや維持管理等は、商店街が行っている。当市では、商店街の環境整備のため、補助金交付規定を制定し、街路灯の新設、改造、維持管理費用の一部を補助している。1基当たり842円、水海道地区が437基、石下地区が106基、

合計543基の補助を行っている。

議員 つくば市、守谷市、つくばみらい市、坂東市、取手市においては、当市で自治区が負担している防犯灯の料金を市が負担している。ふるさと納税を使って自治区負担分を無料にできないか。

保健衛生部長

地元から市負担への切り替えについて、近年における電気料の高騰という状況も注視しつつ、近隣自治体における負担状況を参考にしながら、設置基準等の変更も含めて積極的に検討していく。

議員

ふるさと納税を使ってまちに街灯をともし運動をやっていたきたい。昔が一番のメインストリートだった宝町駅通り商店街は夜間、懐中電灯を持たなくては歩けない。そして、子どもたちの安全が守られないような状況が起こっている。賑やかな通りを復活させるライトアップを進めていただき、市民が胸を張り上を向いて歩けるよう、まちなか再生事業お願いする。

令和5年8月 随時会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第30号	財産の取得について	消防ポンプ車の取得について、予定価格が議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定める額を超えていることから提出するもの	可決
議案第31号	附帯控訴の提起について	本市が訴えを提起した貸金請求事件の第1審判決を不服として相手方が控訴したことに対し、附帯控訴を提起するため、地方自治法の規定に基づき提出するもの	可決
議案第32号	財産の取得について	道の駅常総太陽光発電設備設置工事のうち、太陽光発電設備機器の取得について、予定価格が議会議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定める額を超えていることから、落札者と仮契約を締結したため、提出するもの	可決
議案第33号	令和5年度常総市一般会計補正予算（第4号）	補正予算の増額 補正予算後の総額 1,690万円 244億4,173万5,000円	可決

《会議の欠席等の状況》

8/8【本会議・議会運営委員会・議員全員協議会】(欠席)中村博美

令和5年8月 随時会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。○:賛成 ×:反対 業:棄権

会派	常総の志					令明会					無所属の会			未来		日本共産党	立憲民主党	会派所属無し		
	中島 義昭	塚本 治男	倉持 守	中村 博美	中村 安雄	坂巻 文夫	佐藤 剛史	柳井 真吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	大澤 清	遠藤 章江	岡野 一男	坂野 茂実	小林 剛	堀越 道男	入江 赳史	柴 典明	茂田 信三
議案第32号	○	○	○	—	○	※	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×

※議長は採決に加わらない

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件で15ページに掲載しております。

議案番号	議 案 名	内 容	審議結果
議案第 34 号	常総市防災基本条例の一部を改正する条例について	災害発生時に円滑かつ迅速な避難支援等の措置を講ずることができるよう、平常時から情報共有を図る目的で避難支援等を要する者の名簿情報等について、本人の同意を得ることなく関係者へ提供することを原則可能とする旨の規定の整備を行うもの	可決
議案第 35 号	常総市心身障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	心身障害者福祉センターの利用者が負担する料金に係る規定の整理を行うほか、その算定に当たり引用する法律の改正に伴い、用語の整合を図る等の改正を行うもの	可決
議案第 36 号	常総市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	特定教育・保育施設等の運営に関する基準を定める内閣府令が改正されたことに伴い、用語の整合を図る改正を行うもの	可決
議案第 37 号	常総市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正されたことに伴い、用語の整合を図る改正を行うもの	可決
議案第 38 号	常総市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員の資格要件に係る経過措置を新たに定める改正を行うもの	可決
議案第 39 号 ～ 議案第 52 号	市道の路線の認定について (4005号線、4006号線、4007号線、4008号線、4009号線、4010号線、4011号線、4012号線、4013号線、4014号線、5063号線、5064号線、5065号線、5066号線)	圏央道4車線化事業に伴い、既存の生活道路の機能補償として付け替えを行った道路を市道として認定するもの	可決
議案第 53 号 議案第 54 号	市道の路線の廃止について (2128号線、2132号線)	大生郷町地内の路線について、圏央道4車線化事業により道路としての機能が失われたことから、その認定を廃止するもの	可決
議案第 55 号	市道の路線の変更について (1125号線)	三坂地内の路線について、圏央道4車線化事業に伴う既存の道路の機能補償として、道路の付け替えを行ったことから、当該路線の起点を変更するもの	可決
議案第 56 号 ～ 議案第 59 号	市道の路線の変更について (2048号線、2106号線、2125号線、2127号線)	大生郷新田町地内の路線について、圏央道4車線化事業に伴う既存の道路の機能補償として、道路の付け替えを行ったことから、当該路線の終点を変更するもの	可決
議案第 60 号 議案第 62 号 ～ 議案第 65 号	市道の路線の変更について (2129号線、2176号線、2178号線、2182号線、2184号線)	大生郷町地内の路線について、圏央道4車線化事業に伴う既存の道路の機能補償として、道路の付け替えを行ったことから、当該路線の起点を変更するもの	可決
議案第 61 号 議案第 66 号 議案第 67 号	市道の路線の変更について (2177号線、2187号線、2188号線)	大生郷町地内の路線について、圏央道4車線化事業に伴う既存の道路の機能補償として、道路の付け替えを行ったことから、当該路線の終点を変更するもの	可決
議案第 68 号 議案第 70 号	市道の路線の変更について (2465号線、2480号線)	大輪町地内の路線について、圏央道4車線化事業に伴う既存の道路の機能補償として、道路の付け替えを行ったことから、当該路線の起点を変更するもの	可決
議案第 69 号	市道の路線の変更について (2479号線)	大輪町地内の路線について、圏央道4車線化事業に伴う既存の道路の機能補償として、道路の付け替えを行ったことから、当該路線の終点を変更するもの	可決
議案第 71 号	令和5年度常総市一般会計補正予算(第5号)	補正予算の増額 6億1,610万7,000円 補正予算後の総額 250億5,784万2,000円	可決
議案第 72 号	令和5年度常総市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	補正予算の増額 2,454万9,000円 補正予算後の総額 15億3,567万8,000円	可決
議案第 74 号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出について	請願第1号の不採択により、議決不要とするもの	議決不要
議案第 75 号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書提出について	陳情第1号の採択により、議会としての意見書を国に提出するもの	可決
議案第 76 号	常総市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	令和5年9月30日をもって任期満了となることから、新たに齋藤幹子氏を選任するもの	同意
議案第 77 号	常総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年9月30日をもって任期満了となることから、引き続き倉持好一氏を任命するもの	同意
議案第 78 号	常総市政治倫理審査委員の委嘱につき同意を求めることについて	令和5年9月30日をもって任期満了となることから、引き続き倉金一廣氏、中島正史氏、荒井武氏、倉持雅子氏、染谷悦子氏、飯岡勇氏、岡野庄吾氏、渡辺美奈氏、坂入佳博氏、山根俊之氏を委嘱するもの	同意
議案第 79 号	議員報酬等検討特別委員会の設置について	議員の各種報酬等の適正額に関することの審議を行うもの	可決
認定第 1 号	令和4年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 302億8,188万858円 歳出総額 284億4,660万6,327円 実質収支額 18億3,527万4,531円	認定
認定第 2 号	令和4年度常総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 63億9,044万4,279円 歳出総額 62億8,602万9,664円 実質収支額 1億441万4,615円	認定
認定第 3 号	令和4年度常総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 14億5,722万8,277円 歳出総額 14億2,951万1,370円 実質収支額 2,771万6,907円	認定
認定第 4 号	令和4年度常総市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 54億5,947万8,414円 歳出総額 52億7,260万5,444円 実質収支額 1億8,687万2,970円	認定
認定第 5 号	令和4年度常総市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 1,625万4,359円 歳出総額 1,620万361円 実質収支額 5万3,998円	認定
認定第 6 号	令和4年度常総市水道事業会計決算認定について	収益的収支 収入 16億645万4,119円 支出 15億2,534万1,626円 資本的収支 収入 2億4,980万3,000円 支出 6億207万6,087円	認定

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第73号	令和4年度常総市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	<p>○未処分利益剰余金処分 令和4年度末の未処分利益剰余金1億2,784万7,436円を減債積立金に積み立てるもの</p> <p>○決算認定</p> <p>【公共下水道事業】 収益的収支 収入 10億4,437万2,570円 支出 9億4,252万6,168円 資本的収支 収入 13億4,924万7,050円 支出 16億7,361万752円</p> <p>【大生郷特定公共下水道事業】 収益的収支 収入 2億348万6,591円 支出 1億9,796万5,526円 資本的収支 収入 83万9,000円 支出 2,777万9,066円</p> <p>【農業集落排水事業】 収益的収支 収入 2億8,293万475円 支出 2億6,878万1,764円 資本的収支 収入 9,691万5,000円 支出 1億4,366万4,783円</p>	可決認定
請願第1号	消費税インボイス制度の実施中止の意見書を国に提出する請願	消費税インボイス制度の実施中止の意見書を国に提出することを求めるもの	不採択
陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情	少人数学級の検討、教職員定数改善の推進及び義務教育費国庫負担制度の堅持に係る意見書を国へ提出することを求めるもの	採択
推選第2号	人権擁護委員の推薦について	令和5年12月31日をもって任期満了となることから、引き続き原田君枝氏を任命するもの	推選
選任第4号	議員報酬等検討特別委員会委員の選任について	次の議員を選任するもの (石塚剛、草間典夫、吉原晴照、坂野茂実、遠藤章江、倉持守、中村博美、岡野一男)	選任

《会議の欠席等の状況》

9/5 【本会議】(欠席)大澤 清

9/25 【議会運営委員会】(遅参)遠藤章江、中村博美

令和5年9月 定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。○:賛成 ×:反対 棄:棄権

議案番号	常総の志					令明会					無所属の会			未来		日本共産党	立憲民主党	会派所属無し		
	中島 義昭	塚本 治男	倉持 守	中村 博美	中村 安雄	坂巻 文夫	佐藤 剛史	柳井 真吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	大澤 清	遠藤 章江	岡野 一男	坂野 茂実	小林 剛	堀越 道男	入江 史也	柴 典明	茂田 信三
認定第1号	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×
請願第1号	×	×	×	×	○	※	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×

※議長は採決に加わらない

決算特別委員会 開催

令和4年度決算について、議長と議会選出監査委員を除く18名で構成する決算特別委員会を設置し、審査を行いました。この決算審査は、前年度の予算が目的に沿って適切に使われているかどうかを審査し、改善点や要望を市に伝え、今後の予算や事務執行に繋げる重要な役割を担っています。



総務委員会 所管事務調査

令和5年7月3日から令和5年8月31日にかけて計4回、「防災情報伝達強化事業」について調査を行いました。事業の決定から中止に至るまでの経緯で、不明確な点について原因を究明し、今後の当市の交付金、補助金事務の遂行が正確かつ適正に行うことができるよう聴取・検討を行い、再発防止に向けて執行部に提言しました。



県北3市へ災害見舞金の贈呈

令和5年9月8日に上陸した台風13号の影響により甚大な被害が発生した日立市・北茨城市・高萩市に対し常総市議会議員一同より災害見舞金を10月11日、坂巻議長・佐藤副議長より各市議会を通じてお届けしました。この度の災害に際し、心よりお見舞い申し上げますとともに皆様方の一日も早いご復興をお祈り致します。



高萩市議会

常総橋百景

第十二景

ながみねばし
長峰橋

撮影地

常総市
本豊田地内



投稿者
飯塚正一・孝寛様
イナガシヨウイチ タカノリ

県道24号線、小貝川に架かる長峰橋はつくば市と常総市の東西を結ぶ幹線道路、平成27年9月10日の午前6時過ぎ常総市若宮戸の越水に続き、午後1時頃の三坂町の破堤による未曾有の水害時にも県内幹線道路の役割を十分に果たしてきました。
5月の緑多き穏やかな大地を繋ぐ天空よりの「かけはし」の構図を被写体として是非残したいと思ひ、倅と協力のもと撮りました

常総橋百景 写真募集中!!

皆様のご応募をお待ちしております。

【議事事務局】

〒303-8501

常総市水海道諏訪町

3222-13

12月 定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					本会議 議員全員 協議会	
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
	予算特別 委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会	常任委員会		予算・決算特別委員会 議員全員協議会 本会議		

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

▶ 常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



常総市議会 中継

LINE facebook 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



市ホームページ



かけはし 広報委員会

委員長：石塚 剛
副委員長：柳井 真吾
委員：吉原 晴照
柴 典明
中島 義昭
入江 赳史

常総市議会議長
坂巻 文夫

12月定例会議では、そういった市民生活の心配や不安を減らすための様々な議案や予算が市側から提案されますので、我々は皆様のために慎重に審議を行ってまいります。
新型コロナウイルスの5類移行により、以前の生活環境に戻ってきております。年末を迎え、人の動きは一層大きくなりますので、体調管理には十分注意しましょう。



例年にな
い暑い秋が
過ぎ、乾燥
する冬の時
期に入りま
す。

議長のごひとこと